

2015.09.08

東日本大震災からの復興実情

### 写真とデータで見る東北被災地の現在

早稲田大学特命教授 伊藤 滋

### 浸水範囲の人口・世帯数 -宮城県-

【平成22年国勢調査より】



	浸水範囲の人口・世帯数		当該市町村の人口・世帯		浸水範囲の割合	
	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数
宮城県計	17,375	8,551	190,485	85,790	81	7.6
青森県	3,386	2,098	132,191	58,891	7.1	4.4
大宮地区	3,351	1,138	226,715	81,585	1.5	1.2
石巻市	112,276	42,127	160,704	57,812	69.8	72.4
塩竈市	18,718	8,973	56,490	26,314	31.1	34.3
気仙沼市	42,391	19,814	75,481	29,464	54.8	54.3
石巻市	12,155	3,874	73,140	25,152	16.8	15.8
本宮市	17,144	8,448	43,374	24,547	27.3	27.4
青森市	8,021	2,337	41,148	15,330	18.2	18.9
釜石市	34,014	11,201	43,908	13,909	79.3	80.4
鹿野町	14,020	4,180	34,841	10,808	43.4	39.5
山形市	8,890	2,813	16,711	5,233	53.8	55.7
牡鹿町	4,033	1,477	15,089	5,148	26.8	28.7
七戸町	9,149	2,731	26,418	8,415	44.8	42.9
利根町	542	189	34,020	10,819	1.6	1.8
安田町	8,048	2,115	18,051	3,064	80.1	79.5
鹿沼郡	14,388	4,378	17,431	5,295	82.5	82.8
計	331,603	118,758	4,283,851	1,664,304	27.4	26.9

### 復興まちづくりに関する施策

災害公営住宅整備事業  
～災害公営住宅の整備～

- ・家を失った被災者に自治体が賃貸で提供する
- ・被災者の居住の安定確保を図るため、災害公営住宅の整備に係る費用を支援する



### 人口変化

【震災前(2011.03.01時点)と震災後(2015.07.01時点:震災4年半後)の人口変化】



単位市町村のみ	震災前(2011.03.01)	震災4年後(2015.07.01)	増減数	増減率	震災1年後(2012.03.01)
岩手県	272,837 (人)	246,621 (人)	-26,216 (人)	-9.6%	258,859 (人)
宮城県	1,708,456 (人)	1,698,093 (人)	-9,363 (人)	-0.5%	1,698,156 (人)
福島県	592,864 (人)	553,291 (人)	-39,573 (人)	-6.6%	571,426 (人)
計	2,574,057 (人)	2,498,005 (人)	-76,052 (人)	-2.9%	2,516,421 (人)

### 浸水範囲の人口・世帯数 -福島県-

【平成22年国勢調査より】

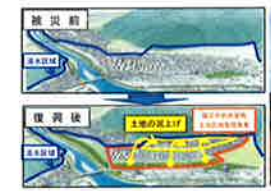


	浸水範囲の人口・世帯数		当該市町村の人口・世帯		浸水範囲の割合	
	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数
いわき市	32,220	11,342	342,108	128,314	9.5	8.8
福島市	10,438	3,978	37,799	13,240	27.6	23.2
南相馬市	13,377	3,720	30,865	13,343	18.8	15.7
広野町	1,385	444	5,478	1,810	25.0	24.3
楳原町	1,748	543	7,121	2,576	22.7	21.1
富岡町	1,401	522	16,868	6,141	8.8	8.0
大原町	1,127	308	11,511	3,355	9.8	9.1
浪江町	1,379	492	6,932	2,393	18.4	16.8
浪江町	3,356	1,094	20,028	7,171	58.1	14.0
郡山	4,668	1,400	8,318	2,481	56.8	58.9
計	71,292	22,847	527,573	191,806	13.5	11.8

### 復興まちづくりに関する施策

土地区画整理事業  
～住宅地・公共施設の整備に加えて土地を高上げ～

- ・広範囲かつ甚大な被害を受けた市街地の復興に対応するため、被災市街地復興土地区画整理事業により緊急かつ健全な市街地の復興を推進する



### 浸水範囲の人口・世帯数 -岩手県-

【平成22年国勢調査より】



	浸水範囲の人口・世帯数		当該市町村の人口・世帯		浸水範囲の割合	
	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数
岩手県	18,378	7,309	38,447	22,504	35.9	32.8
大船渡市	18,073	8,057	42,738	14,614	46.8	47.0
大船渡市	7,171	2,553	36,875	14,013	19.4	18.2
陸前高田町	18,840	5,582	23,302	7,784	71.4	71.1
釜石市	13,184	5,235	38,578	18,695	33.3	32.5
大船渡市	11,815	4,614	18,277	6,874	78.0	61.3
山形町	11,418	4,175	18,825	8,805	61.3	63.2
野田町	1,137	431	12,804	4,355	10.5	9.9
雄勝町	1,582	526	3,843	1,308	41.2	40.2
野田町	1,115	380	3,088	1,042	36.1	35.5
野田町	3,177	1,049	4,832	1,578	88.6	87.8
野田町	2,733	932	17,910	6,117	15.3	15.2
計	107,503	38,873	274,114	101,800	39.2	38.8

### 復興まちづくりに関する施策

防災集団移転促進事業  
～被災した住居の安全な場所への移転～

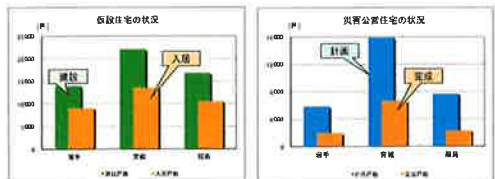


### インフラの復旧・復興状況(H27.3末時点)



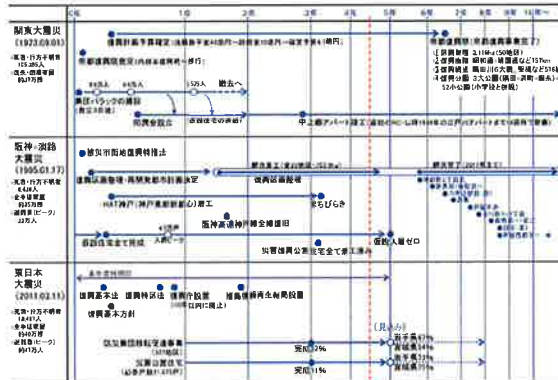
注:標準集約の避難指示区域は原則除いている

### 住宅供給(H27.08末時点)



種類	仮設住宅		災害公営住宅	
	建設戸数	入居戸数	計画戸数	完成戸数
前半期	13,884 (戸)	8,642 (戸)	5,676 (戸)	1,978 (戸)
宮城県	22,055 (戸)	13,833 (戸)	15,918 (戸)	6,701 (戸)
福島県	16,809 (戸)	10,422 (戸)	7,701 (戸)	2,307 (戸)
計	52,877 (戸)	33,344 (戸)	29,487 (戸)	10,992 (戸)

### 過去の災害復興との比較



資料：復興庁の「被災地の状況」、国土交通省の「被災地復興の状況」、国土交通省の「被災地復興の状況」、国土交通省の「被災地復興の状況」、国土交通省の「被災地復興の状況」

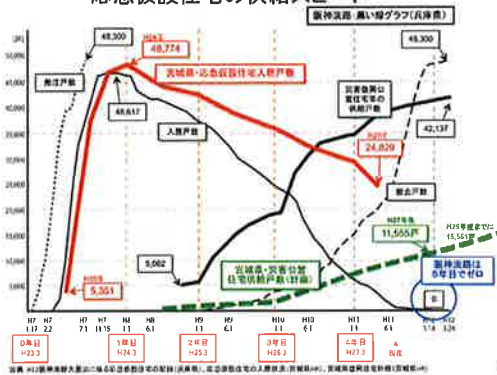
### 阪神淡路大震災との比較 応急仮設住宅の建築



### 視察5年目で見た まちの変化

- 防潮堤の建設・改修が加速
- 被災市街地のかさ上げが進展
- 住宅の移転先宅地造成(高台造成)の進展
- 鉄道インフラの再開・移設整備の進捗
- 福島の復旧・復興が動き始める

### 阪神淡路大震災との比較 応急仮設住宅の供給スピード



### 2015年 被災地の5年目

被災地視察行程 7/20(月)～7/23(木)

- 7/20 羽田空港～三沢空港  
三沢～八戸～久慈～野田～菅代～  
田野畑～田老(宮古)～宮古市街地～  
山田～大槇～釜石(輪住居) [泊]
- 7/21 釜石市街地～大船渡～陸前高田～  
気仙沼～南三陸(志津川)～  
石巻(長面)～石巻(雄勝)～女川[泊]
- 7/22 女川～石巻市街地～東松島～  
仙台～名取(開上)～岩沼～亶理～  
山元～新地～相馬(松川浦) [泊]
- 7/23 相馬～南相馬～浪江～双葉～  
大熊～富岡～楢葉～広野～いわき



### 2011.07 久慈市

1 久慈湊小学校の津波教育の成果



「津波防災プロジェクト」(総合学習)の中で、子どもたちが個人頭の庭を避難場所として提案、土地所有者とも交渉し、正式な避難場所に

### 2015.07 久慈市 久慈湊小学校

5 小学校から高台の避難場所までの道路の拡幅・舗装



### 2015.07 野田村 野田漁港

5 海岸防潮堤の復旧工事(2重の防潮堤)





2005.07 宮古市 田老地区

0



震災前の田老地区の航空写真

2014.07 宮古市 田老地区

4



・従前の防潮堤より高くして再建(10m→14.7m)

防潮堤の一部を震災遺構として残す意向

2015.07 宮古市 田老地区

5



田老地区 土地利用計画図

2013.10 宮古市 田老地区

3



X型の堤防は交差部を分離し2重堤防に  
堤防より海側は非可住地として水産集用地・公園に

この図は完成イメージです。  
実際とは異なる場合があります。

2014.07 宮古市 田老地区

4



・防災集団移転促進事業による高台造成

2015.07 山田町 大沢地区

5



・津波に耐えたRC造の商店(毎年訪問)、かさ上げに伴い移転・取り壊しを予定

2012.06 宮古市 田老地区

2



・従前の防潮堤より高くして再建(10m→14.7m)

津波により破壊されたX型堤防

2015.07 宮古市 田老地区

5



・防災集団移転促進事業による高台造成もほぼ完了、秋から宅地引き渡し予定

2014.07 山田町 大沢地区

4



・大沢地区の整備計画図



2011.07 山田町 大沢地区

1 8mの津波が襲い、壊滅的被害を受けた大沢地区を一望



28

2014.07 大槌町 町方地区

4 宅地ではかさ上げが始まる(盛土高2.5mを予定)



29

2011.07 釜石市 鶴住居

1 釜石東中と鶴住居小の子どもたちの避難判断



34

2014.07 山田町 大沢地区

4 手前はかさ上げ、海側は防潮堤の整備を予定



28

2015.07 大槌町 町方地区

5 市街地全体のかさ上げが進む



32

2011.07 釜石市 鶴住居

5 釜石東中と鶴住居小の跡地は運動公園(ラグビー場)として整備予定



35

2012.08 大槌町 町方地区

2 津波と火災により被害を受けた建物が取り壊され、寺の本堂はプレハブに



30

2014.07 大槌町 町方地区

4 土地区画整理事業(約30ha)でかさ上げ



31

2011.07 釜石市 鶴住居

5 釜石東中と鶴住居小の跡地は運動公園(ラグビー場)として整備予定



ラグビーワールドカップ2019の会場に予定されている(仮称)釜石鶴住居復興スタジアム

36



2011.07 大船渡市 越喜来

1 越喜来小学校の避難ブリッジ(震災前年度に完成)



37

2015.07 大船渡市 越喜来

5 三陸鉄道南リアス線(2014年4月全線再開)の三陸駅



40

2014.07 大船渡市 市街地

4 宅地のかさ上げが始まる



43

2011.10 大船渡市 越喜来

3 解体され更地になった越喜来小学校



33

2012.08 大船渡市 市街地

2 仮設商店街(大船渡屋台村)の営業が開始



41

2014.07 大船渡市 市街地

4 津波により流出した線路敷を利用したBRT専用道

現在はかさ上げのため70m先に移転し、かさ上げ終了後専用道で運行再開予定



44

2015.07 大船渡市 越喜来

5 越喜来小学校の避難ブリッジは、震災遺物でつくられた私設資料館に移設



39

2015.07 大船渡市 市街地

5 沿岸部でかさ上げ、BRT専用路線を整備予定



42

2015.07 大船渡市 市街地

5 BRT専用道をかさ上げ中のため一般道で暫定運行されているBRT



45

2014.07 陸前高田市 市街地

1 市街地は全域で壊滅的被害



46

2015.07 陸前高田市 市街地

5 市街地に土砂を運ぶベルトコンベア、間もなく役目を終える



49

2014.07 気仙沼市 気仙沼漁港

4 防潮堤の高さは様々な場所で議論になっている



52

2014.07 陸前高田市 市街地

4 高台から市街地を見渡す



47

2011.07 気仙沼市 気仙沼漁港

1 再開された魚市場



50

2015.07 気仙沼市 気仙沼漁港

5 気仙沼漁港に整備される防潮堤



53

2015.07 陸前高田市 市街地

5 宅地部分のかさ上げが進む市街地、続けて道路もかさ上げの予定



45

2014.07 気仙沼市 気仙沼漁港

4 カツオなどが水揚げされ、活気が戻ってきた気仙沼市場



51

2007.09 南三陸町 志津川

0 震災以前(2007年)の志津川



54



2014.07 南三陸町 志津川

4 ・現在(2014年)の志津川



33

2015.07 南三陸町 志津川東団地(高台移転)

5 ・ベイサイドアリーナを中心とする新たな復興まちづくり(高台移転市街地造成)



58

2014.07 南三陸町 藤浜団地

4 ・高台造成した防災事業として、被災3県で最初に竣工(10戸)



61

2015.07 南三陸町 志津川地区

5 ・周囲のかさ上げが進むなか、被災時の姿を残す防災庁舎



35

2014.07 南三陸町 志津川東団地(高台移転)

4 ・ベイサイドアリーナを中心とする新たな復興まちづくり(高台移転市街地造成)



59

2015.07 南三陸町 藤浜団地

5 ・住宅建設が進捗、居住も開始



62

2015.07 南三陸町 志津川防災庁舎

5 ・2015年6月、県有化して震災遺構とする方針に。当面2031年までは県が管理。



県民に訪れる人が集まる場を

2015.07 南三陸町 志津川東団地(高台移転)

5 ・ベイサイドアリーナを中心とする新たな復興まちづくり(高台移転市街地造成)



60

2015.07 石巻市 市街地

5 ・日和山より眺む沿岸部、シンボル公園の整備を予定



63

2014.07 石巻市 新蛇田地区

4

・畑だった地区に1,460戸の新市街地ができる



64

2014.07 石巻市 北上川河口(長面地区)

4

・排水し農地を復旧

ダムをつかって排水し、行方不明者の捜索を行ったあと、試験的に水のひけを再開



67

2015.07 女川町 女川地区

5

・かさ上げが進む市街地と、さらに高台の居住地

中世に新しい女川駅が見える



70

2015.07 石巻市 新蛇田地区

5

・防災による住宅の建設、災害公営住宅の整備が著しく進展



防災による移転住宅の建設

災害公営住宅の整備

65

2011.07 女川町

1

・約20m(建物5階まで到達)の津波により転倒したビル



68

2015.07 女川町 女川地区

5

・新しい女川駅とプロムナード



71

2012.04 石巻市 北上川河口(長面地区)

2

・地盤沈下により、水没した集落と農地

約22haの農地と集落が水没



66

2015.07 女川町

5

・全てが除去され、地盤のかさ上げ、基礎整備等が進められている



69

2014.07 女川町 女川地区

4

・災害公営住宅の整備



72



2015.07 5 女川町 女川地区

・運動公園跡地にできた災害公営住宅「運動公園住宅」



2014.07 4 東松島市 野蒜地区

・内陸の高台造成地から仮置き場まで土砂を運ぶベルトコンベヤー

(2015年の視察時にはすでに撤去)



2015.07 5 東松島市 野蒜地区

・高台に移設された新野蒜駅



2014.07 4 女川町 女川地区

女川町 高台移転計画



豊平手法 土地区画整理事業、砂の運搬・仮置き場の確保、高層建築物等に必要

豊平町は、今回の復興計画の進捗に対して、重要な役割を担う。豊平町は、復興計画の進捗を確保するための、重要な役割を担う。

2014.07 4 東松島市 野蒜地区

・広大な高台造成地



2015.07 5 東松島市 野蒜地区

・高台に移設された新東名駅



2014.07 4 東松島市 野蒜地区

・被害の大きかった沿岸部から、住宅地とJR仙石線を内陸の高台へ移転



※東松島市野蒜北部丘陵地区復興事業HP

2014.07 4 東松島市 野蒜地区

・JR仙石線の復旧(2015年中)



2015.07 5 東松島市 野蒜地区

・高台に移転した野蒜駅から見た旧野蒜駅と周辺の住宅地



2014.07 仙台市 荒浜地区

4 平野部で最大級の10mの津波に襲われた荒浜地区  
住民は内陸へ集団移転を希望、移転先の造成も一部完成



2014.07 名取市 関上地区

4 関上漁港の名物朝市を復活させる商業施設“メイプル館”



2011.07 山元町

1 駅舎と線路が流出したJR常磐線 坂元駅 →常磐線は内陸へルート移転



014.07 仙台市若林区 荒浜地区

4 かつての荒浜の風景、津波が襲った際の写真を展示



2014.07 岩沼市 玉浦西地区

4 防災集団移転促進事業による宅地引渡が完了し、住宅の建設ラッシュ  
岩沼市は住民WSで新市街地の街づくりを行い、官民協働でも復興が進んでいる



2015.07 山元町

5 常磐線の内陸移転(津波被災エリア)  
・浜吉田駅以北は閉鎖済み  
・浜吉田駅～駒ヶ嶺駅間を内陸移転  
・相馬駅以南は原ノ町駅まで運行中



2014.07 名取市 関上地区

4 関上地区の4年間の移り変わり(日和山より一望)  
2年目  
4年目  
3年目



2015.07 岩沼市 玉浦西地区

5 防災により整備された新しい住宅団地



2015.07 山元町 新坂元駅周辺

5 常磐線を内陸に移設、新駅の周辺に新市街地を整備





2014.07 山元町 新山下駅周辺地区

4 常盤線を内陸に移転、新市街地を整備



施工面積 約36ha (災害公営住宅440戸、戸建住宅270戸)

2014.07 山元町

4 再建したイチゴのビニールハウス



高さで95mのビニールハウスが新築

2014.07 相馬市 馬場野地区

4 被災した高齢者が共同生活を送る災害公営住宅(井戸端長屋)



2014.07 山元町

4 連棟式を採用した災害公営住宅



2階建て家として申し込みや、様々な設備機器が入れやすい工夫

2011.07 新地町 新地駅周辺地区

1 壊滅的な被害を受けた新地市街地(町役場から一望)



2014.07 相馬市 馬場野地区

4 災害公営住宅(井戸端長屋)

1 共有の廊下が設けられ、足元は一田舎として、行儀と一体となったサービスデスク、高齢者の監視カメラ設置

2 居住者に個人が集ったイニエーション、ランドリースペースや洗濯

3 ランドリースペースの共用に備え、緊急時エリアに

4 100㎡の共有コート、設備の備

5 全館ユニバーサルデザイン(手すり、身障者トイレ併設)

6 全館バリアフリー、障子の設置は介護状態に対応

7 入居自由な取組を促進するため、戸別での入居希望を促進

8 専らシニアは職に就くためのサービスデスク

9 入居者の企業に就労するための、業務委託

10 共有スペースは災害時の避難場所

11 障子による騒音対策、障子の設置



2014.07 山元町 新山下駅周辺地区

4 災害公営住宅第2弾

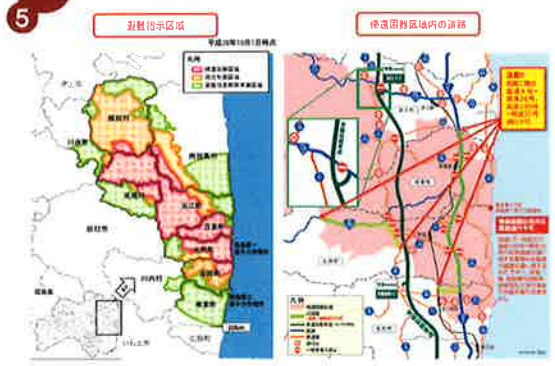


2014.07 新地町 新・新地駅周辺地区

4 新地駅を内陸移転し、かさ上げ(23.7ha、4m)(町役場から一望)

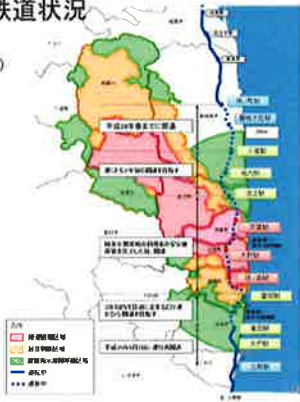


2015.07 避難指示区域と道路状況



### 2015.07 避難指示区域と鉄道状況

- 5 常磐線の運行状況(原発被災エリア)
- 原ノ町駅～菟田駅間は運休(代行バスが運行)
  - 原ノ町駅から小高駅・浪江駅までは早期の運行再開を目指している
  - 浪江駅から菟田駅までの再開時期は不透明



### 2013.10 浪江町 浪江町・帰宅困難区域

- 3 帰宅困難区域(浪江町)への立入を制限する検問(国道6号)



これより先に行くには通行証が必要

### 2015.07 浪江町 避難指示解除準備区域

- 5 浪江駅の掲示:「大地震のため終日運転を見合わせます。」



### 2013.10 南相馬市 小高地区: 避難指示解除準備区域

- 3 無人のJR常磐線小高駅前(原発20km圏内)



### 2015.07 浪江町 避難指示解除準備区域

- 5 地震による建物の被害に加え、無人となり荒廃した浪江駅前の通り



### 2015.07 双葉町 帰宅困難地域

- 5 国道6号外への立ち入りを禁止する柵



### 2015.07 南相馬市 小高地区: 避難指示解除準備区域

- 5 除染



### 2015.07 浪江町 避難指示解除準備区域

- 5 浪江駅



### 2015.07 富岡町 帰宅困難地域

- 5 帰宅困難区域内であることを知らせる看板





2015.07 富岡町 居住制限区域

5 夜ノ森の桜並木 震災までは春には全国から花見客が訪れる桜の名所だった



109

2015.07 富岡町 居住制限区域

5 津波で被災し除去された富岡駅跡地 再開の見通しはまだ立っていない



112

2015.07 楢葉町 避難指示解除準備区域

5 竜田駅から原ノ町駅の間を代行バスが直通運行(1日に上下各2便)



113

2015.07 富岡町 居住制限区域

5 除染作業が行われている住宅



あちこちの瓦葺の片隅に置かれた漆塗の瓦を土を入れた袋

110

2015.07 富岡町 居住制限区域

5 富岡駅の海側には大きな仮設焼却施設が整備されている



111

2015.07 楢葉町 避難指示解除準備区域

5 竜田駅前の放射線空間線量率のモニタリングポスト(0.214μSv/h)



116

2015.07 富岡町 居住制限区域

5 津波被害を受けたまま放置された富岡駅前の商店街



114

2015.07 楢葉町 避難指示解除準備区域

5 竜田駅 ここからいわき方面への常磐線は運行している



115

2015.07 広野町

5 広野駅



117